

しっかり見詰めよう そしてみんなで育もう 『八重瀬の宝』 八重瀬町こいのぼりの集い



「しっかり見詰めよう そしてみんなで育もう 『八重瀬の宝』」をテーマに八重瀬町こいのぼりの集いが5月2日、貝志頭城跡で開催され保育園児約180名、関係者50名が参加し端午の節句を前にして、こどもたちの健やかな成長を祈念しました。

こいのぼりを町内5箇所に掲揚しその内2箇所は、貝志頭城跡と八重瀬公園の慰霊碑に掲揚することで、戦後63年風化しつつある過去の歴史を顧みることを目的としています。



■こいのぼりの歌をうたいながら掲揚しました

また、八重瀬町商工会青年部と八重瀬町役場が主催となり後援に町青年会や町商工会、社会福祉協議会、スカイスポーツ&スクールWINDBERD・スカイスポーツクラブサザンウィングなどが参加することで八重瀬町の融和を促すことも目的の一つです。

セレモニーでは、町内の保育所から参加した園児たちがこいのぼりの歌を高らかにうたい掲揚を行いました。そして八重瀬町こいのぼりの集いのテーマに願いを込めて色とりどりの風船を放ち、園児たちは高らかに舞う風船に大きな歓声を上げて喜んでいました。



■ヒーロの登場に園児たちも大喜び

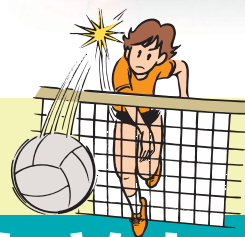


■参加児童にはお菓子が配られました

ふれあい体験 プログラム



沖縄県青年会館・沖縄県青年団協議会の地域ネットワークを活用したふれあい体験プログラムが4月16日行われ、兵庫県神戸市立広陵中学校生徒24名が修学旅行で沖縄の観光地を訪問する中、八重瀬町字富盛にある石彫り大獅子を見学にきました。またその日の宿泊は字富盛区民の各世帯に数名がホームステイし、生徒たちを自分の子や孫といったように受け入れました。一方、生徒たちにとっては沖縄の普段の暮らしをそのまま感じとれる機会となり貴重な体験となりました。初めて沖縄を訪問した大坪さんは、「沖縄の人たちが快く迎えてくれてうれしい。体験を通していい思い出をつくって帰りたいです」と話しました。



平成20年3月22日(土)

八重瀬町総合型スポーツクラブが設立しました。



総合型地域スポーツクラブとは、生涯スポーツ社会の実現に向けた新たなスポーツ環境です。今までのように行政に全てお願いして、「スポーツと水と空気はタダ！」という時代から脱皮することから始まります。「だれでもいつでも・気軽に」を合言葉に、地域の住民が自分たちで運営し、活動していくクラブです。

これからのスポーツ活動は、地域のみならず活動しながら、交流することが大事になってきます。総合型地域スポーツクラブはスポーツ活動による地域づくりでもあります。みなさんも、総合型地域スポーツクラブに参加してみませんか？

八重瀬町総合型スポーツクラブは、町サッカー協会、ゲートボール愛好会、東風平婦人バレーボールクラブがスクラムを組んで、日本体育協会からの委託事業を受け、沖縄県保健体育課、沖縄県体育協会、八重瀬町教育委員会の協力・支援の下、総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を立上げ、地域の実情に合わせて、自分たちが気軽にできる、地域の人たちが参加しやすい種目を会員が力を合わせて実施し、活動の幅を広げていけるような環境づくりを目指し、平成18年度から、2年間取り組んできました。

5年先、10年先、15年先を見据えて、八重瀬町総合型地域スポーツクラブは、八重瀬町内を中心に、



同じ地域に住む私たちが会員となって、子どもから高齢者まで参加できるクラブとして、会員からの会費とクラブ運営を支える方々のボランティア精神によって自主的に運営する地域スポーツクラブを目指しています。

その活動の第1歩として、サッカー協会、ゲートボール愛好会、東風平婦人バレーボールクラブの基盤強化を図りつつ、現在自然発生的に活動されている、いろいろなサークルの活動状況を把握し、連絡協議会のような組織を作り将来的に、組織の定着・拡大を目指しています。

未来の子どもたちのため、その子どもたちが家庭を築くときのため、地域の交流がもっともっと大事になるのではないのでしょうか？より一層のつながり(ゆいまーる)を今から少しずつ作り上げていきませんか？